

株式会社レスターホールディングス

2024年3月期第1四半期
決算補足説明資料

2023年8月10日



2024年3月期第1四半期 連結業績ハイライト



業績ハイライト

売上高はセグメントごとの強弱があったものの堅調に推移し増収（調達、電子機器、環境エネルギー）
営業利益は対前年比の為替動向の違いに加え、特殊要因により減益

- 売上高
スマートフォン・タブレット市況の低迷に伴い E M S 事業が減収となったものの、主に調達事業における新規取引の拡大や、半導体の需給改善に伴い電子機器事業が堅調に推移し増収（前年同期比 6.2%増）
- 営業利益
デバイス事業における前年同期との為替動向の違いに加えて得意先に対する在庫評価減並びに貸倒引当金の計上、更には前年同期の特需が剥落したこと、及び E M S 事業の減収などにより減益（前年同期比 32.3%減）
- 経常利益
金利上昇に伴う支払利息の増加などもあり減益（前年同期比 52.3%減）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
経常利益の減益もあり減益（前年同期比 69.3%減）



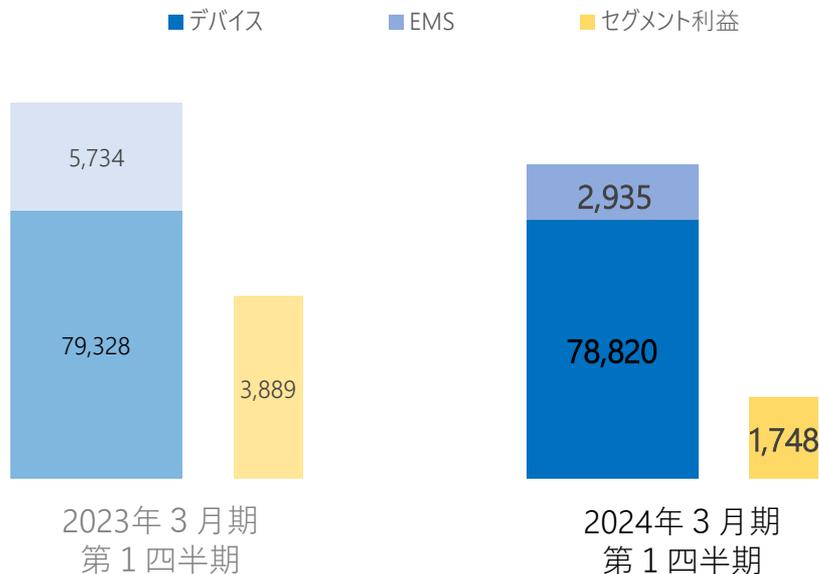
連結業績

単位：百万円	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	112,552	—	119,563	—	7,011	6.2%
売上総利益	10,173	9.0%	9,889	8.3%	△284	△2.8%
販売管理費	6,100	5.4%	7,133	6.0%	1,032	16.9%
営業利益	4,072	3.6%	2,755	2.3%	△1,317	△32.3%
経常利益	3,678	3.3%	1,752	1.5%	△1,925	△52.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,230	2.0%	683	0.6%	△1,546	△69.3%



半導体及び電子部品事業

(単位：百万円)

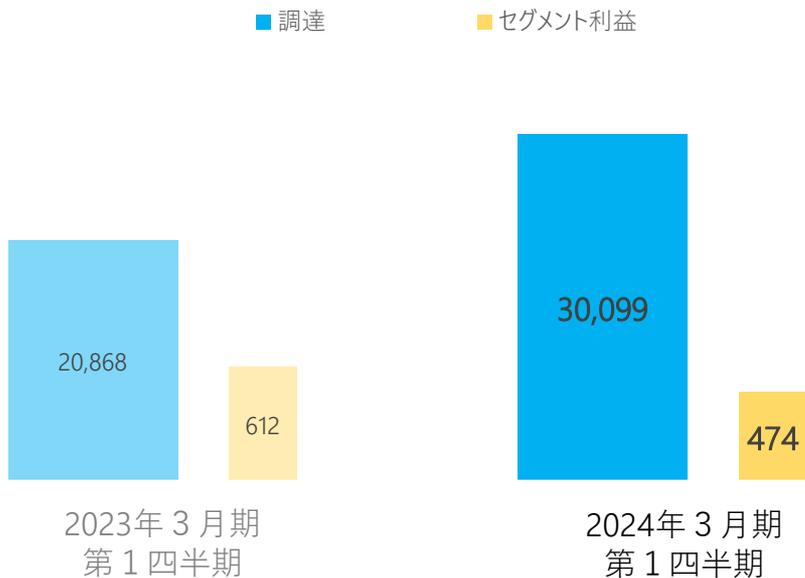


【ポイント】

- デバイス
産業機器向け・車載向けの売上伸長などがあったものの、サーバー向けやオフィス機器向けなどの販売が減少し、やや減収
- EMS
車載用ディスプレイなどの事業が拡大しているものの、主力のスマートフォン・タブレット市況の低迷に伴い減収
- セグメント利益
デバイス事業における為替動向の違いに加えて得意先に対する在庫評価減並びに貸倒引当金の計上、更には前年同期の特需が剥落したこと、及びEMS事業の減収により減益

調達事業

(単位：百万円)



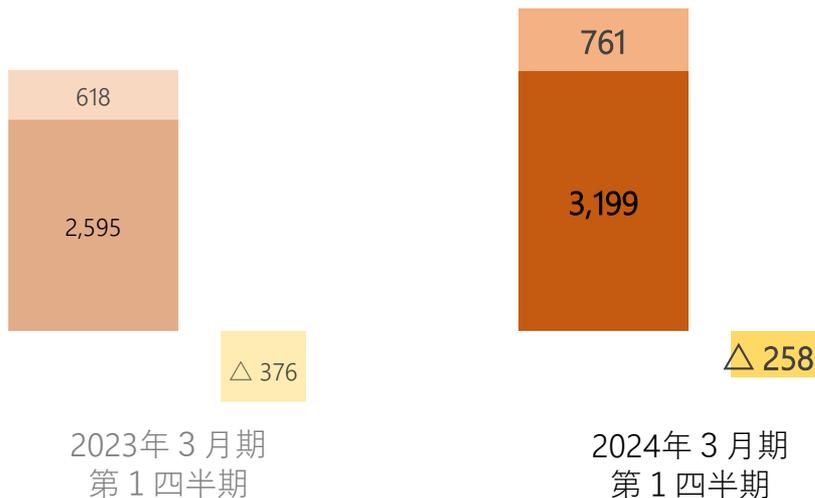
【ポイント】

- 調達
新規及び既存の取引が拡大し増収
- セグメント利益
為替動向の違いにより減益

電子機器事業

(単位：百万円)

■ 電子機器 ■ システム機器 ■ セグメント利益



【ポイント】

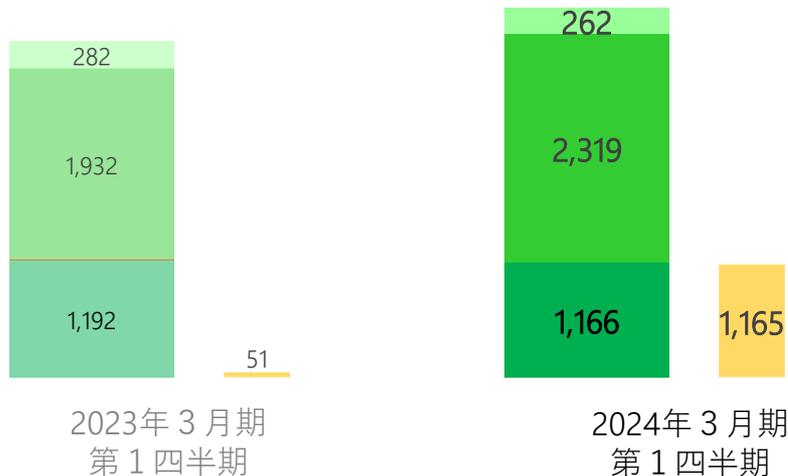
- 電子機器
イベント需要の回復やオフィスの移転・リニューアルに伴う映像音響機器やICT関連設備の需要増加もあり増収
- システム機器
サプライチェーンにおける部材調達の回復に伴い、海外製決済端末並びにオフィス向け出入管理端末の売上増加により増収
- セグメント損失
増収により損益改善



環境エネルギー事業

(単位：百万円)

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場 ■ セグメント利益



【ポイント】

・ エネルギー

国内外の太陽光発電所における発電が堅調に推移

	1Q FY22	1Q FY23	YoY		
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	1,546	1,516	△ 31	△2.0%	
太陽光発電量 (MW)	国内	148	151	2	1.7%
	海外	27	34	8	29.8%
	合計	175	185	10	6.0%

・ 新電力

保有電源の寄与もあり増収

・ 植物工場

スーパー向け取引の拡大があったものの、量産化した新商品の販売が見込みを下回ったことによりやや減収

・ セグメント利益

新電力事業の増収やエネルギー事業が堅調に推移したことにより増益

連結貸借対照表

資産：売掛金、棚卸資産などの増加、負債：短期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末
資産の部		
流動資産	210,816	219,454
固定資産	58,611	60,001
資産合計	269,427	279,456
負債純資産の部		
流動負債	162,439	173,077
固定負債	21,892	21,807
純資産	85,095	84,571
負債純資産合計	269,427	279,456
自己資本比率	30.0%	28.6%



2024年3月期通期見通しと進捗

単位：百万円	2024年3月期 通期見通し	2024年3月期 第1四半期	進捗率
	金額	金額	
売上高	500,000	119,563	23.9%
営業利益	10,000	2,755	27.5%
経常利益	7,000	1,752	25.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,000	683	9.7%

2023年5月12日公表の通期業績見通しに変更ございません。

株主還元方針

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期予想	55円00銭	60円00銭	115円00銭

2023年5月12日公表の通期業績見通しに変更ございません。



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス
の創出

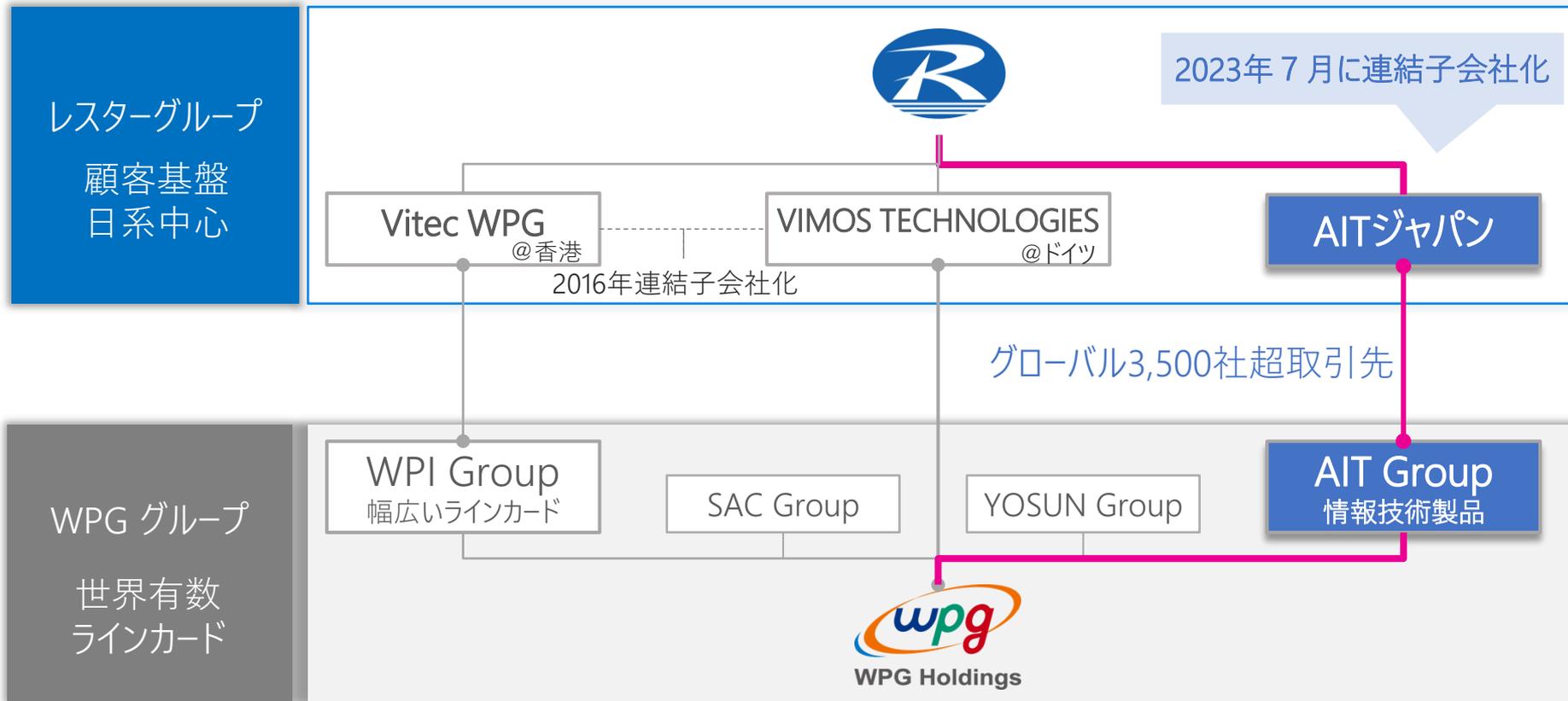
情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

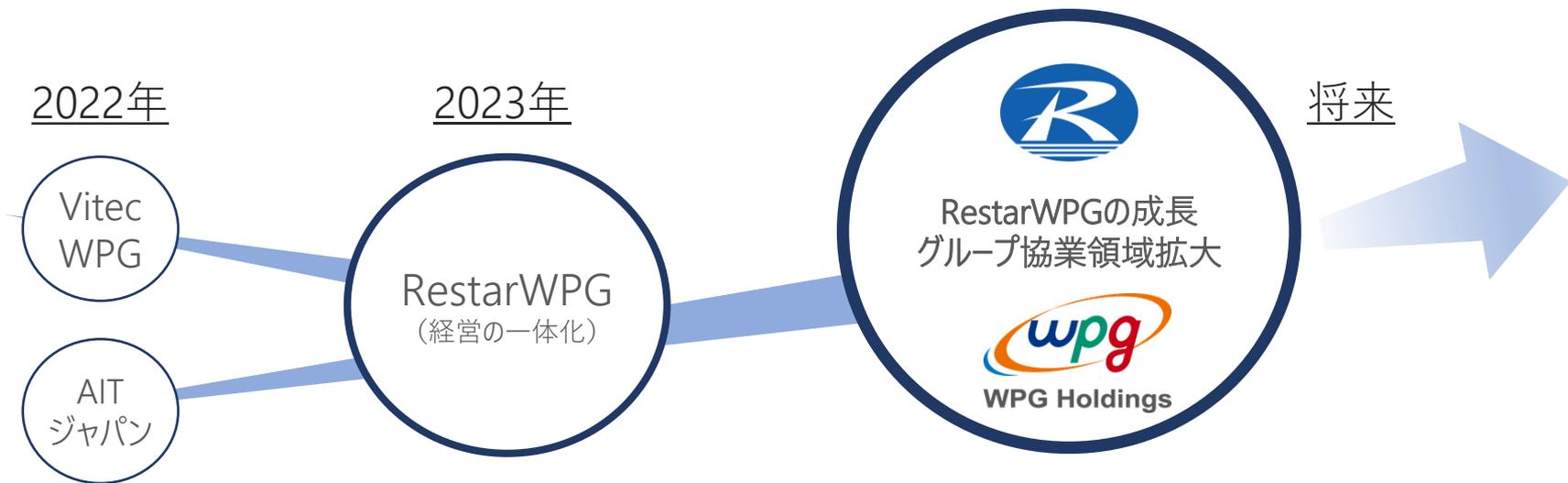
多様な事業展開

1. 世界トップクラスの半導体商社WPGグループとの連携強化
2. 自治体へのIoT・DXサービス：佐賀県有田町と連携協定を締結
3. Konno&レスター財団：第2回助成の贈呈式を開催

1. 世界トップクラスの半導体商社WPGグループとの連携強化①



1. 世界トップクラスの半導体商社WPGグループとの連携強化②



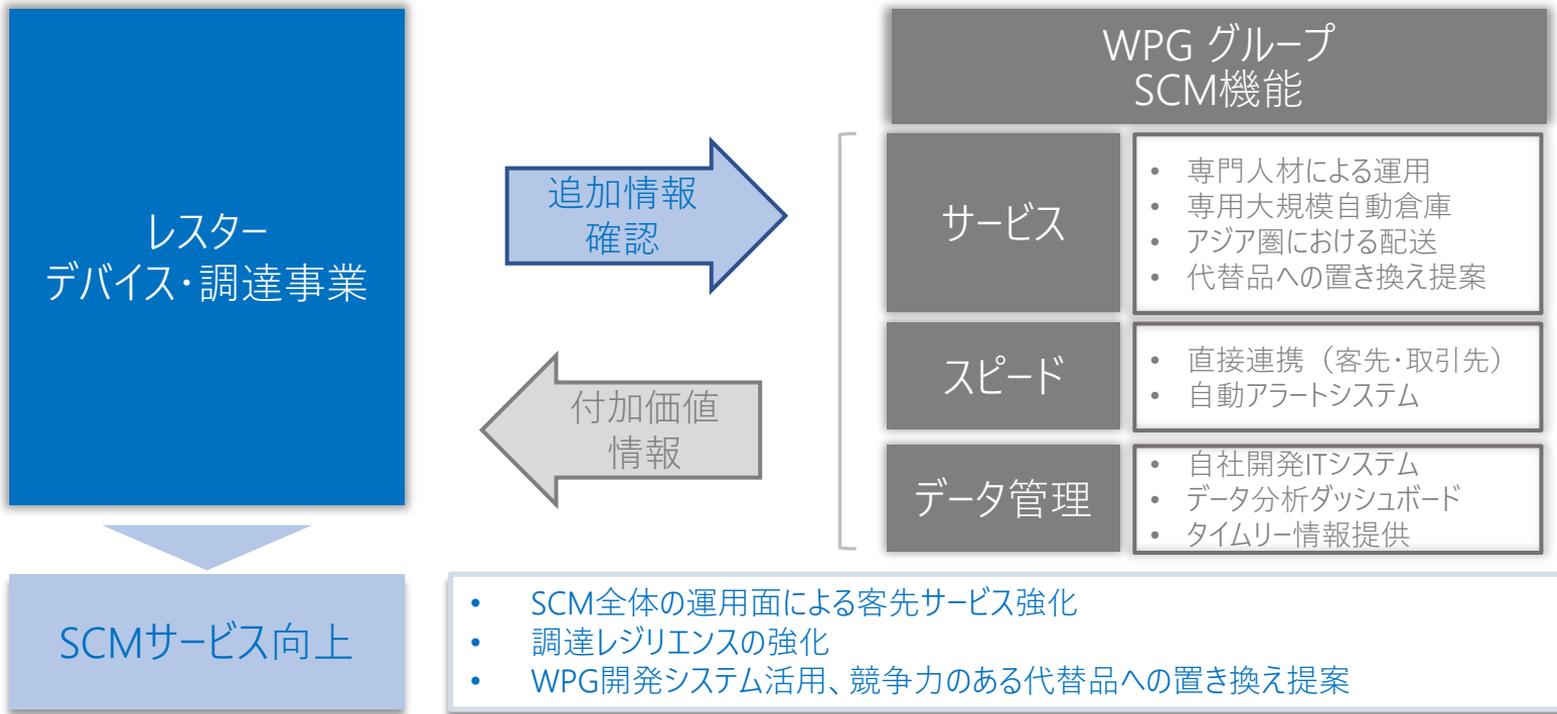
レスターグループ

- AIT商材とレスター強み商材のクロスセルによる事業拡大（車載・民生など）
- アナログ系ラインカードの拡充
- プロダクトマーケティング強化による事業創造

WPGグループ

- 国内市場におけるレスター顧客基盤へのアクセス
- レスター商材の海外拡販による事業拡大
- デバイス市場のみならずレスターの営む環境事業など多角的な事業との協業

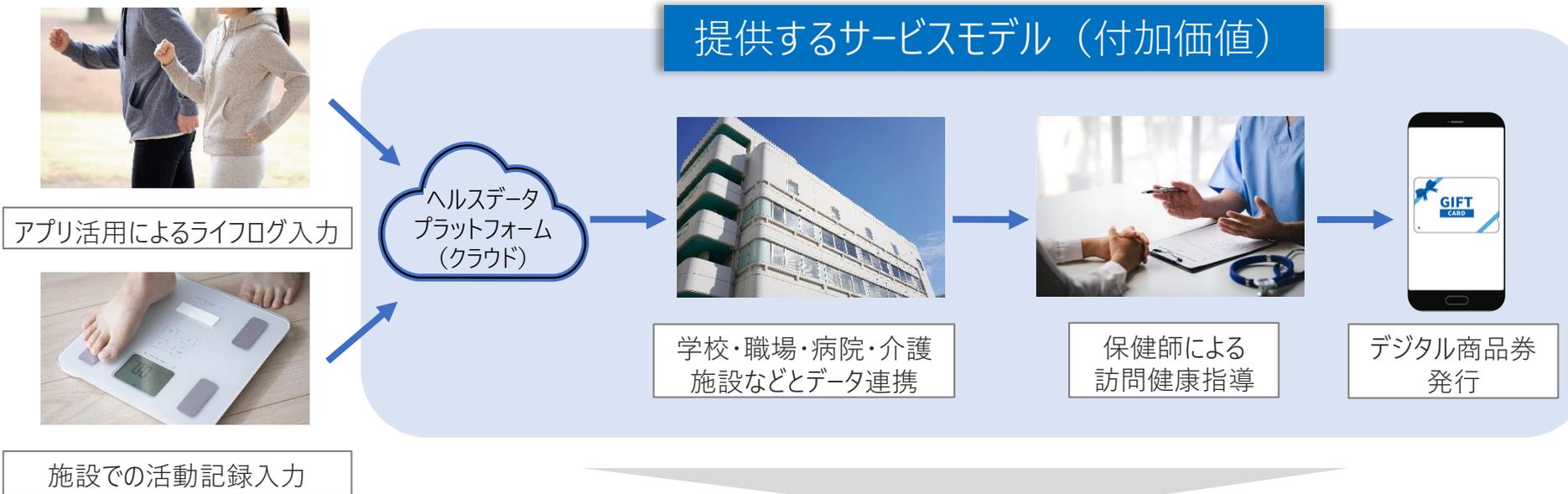
1. 世界トップクラスの半導体商社WPGグループとの連携強化③



新たな地域・顧客へのSCMサービス事業拡大

2. 自治体へのIoT・DXサービス：佐賀県有田町と連携協定を締結

住民の健康データのクラウド管理、健康促進、保健師の負担軽減をDXで実現



「イノベーションを通じてより良い社会を実現する」マテリアリティの実践

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/ba4w/ze5X/O48M.pdf>

3. Konno&レスター財団：第2回助成の贈呈式を開催

～ 社会貢献への想い～

農林水産業における技術の発展の一助へ
「食」に関わる課題解決に向けた技術の進化を広く支援
グローバル社会の持続可能な発展に寄与

公益財団法人

Konno&レスター財団



品種改良



生産技術

助成対象テーマ：農林水産業における革新的・先進的技術に関する研究
植物工場・施設園芸、海洋養殖・陸上養殖、林業分野に対して助成

第2回助成（2023年7月）

植物工場・施設園芸	： 6 件
海洋養殖・陸上養殖	： 4 件
林業分野	： 2 件



受賞者と財団理事長 今野



贈呈式の様子

第2回は助成の規模と件数を拡大し、研究者を支援

<お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

